

特別号

ふれあい

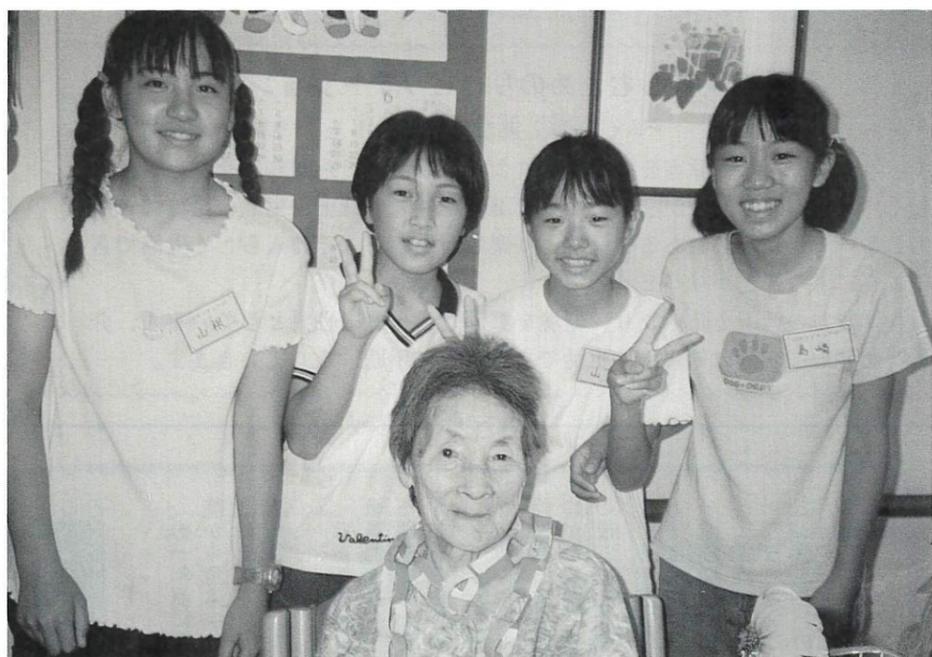
題字：扇谷利二

第2号

平成10年8月1日発行

発行所

医療法人社団七徳会
魚津病院・魚津老人保健施設
〒937-0641 富山県魚津市友道789
電話 (0765) 24-7671 (病院)
(0765) 24-7691 (老健)
FAX (0765) 24-7157



上中島小学校の皆さんと共に

青春の一刻

魚津病院 院長 山崎隆吉

私は昭和2年の生まれです。この世代の人々は、戦前・戦中・戦後と生き抜いた数少ない世代なのです。私自身その頃の思い出が印象的に回顧されます。第二次世界大戦が始まったのは昭和16年私の中学3年生の時、終戦の時は高校2年生でした。昭和19年頃には、日本は戦闘能力が殆どなく、敵のなすがままでした。富山も20年に入って連日警戒警報のサイレンが鳴り、全市民は防

空壕に避難させられました。私はその頃富山高校で勉強していました。大学生は学徒動員で戦場へ駆り出され、高校生も産業戦士として軍事工場で働かされました。私達も近くのロケット燃料用水素を生産するための工場に動員されましたが、いざ生産という段階で終戦を迎えたのでした。高校は昭和22年3月迄で、その後、父の勧めで金沢医科大学に進学しました。当時父は福島県白河市に住んでいました。当地は那須国立公園の近くで会津磐梯などと景勝地が多く、眺めとしてはまあまあでした。確か卒業の年であったと思いますが、新潟から会津を廻って東山温泉で足を止め、桐の薄板で飾ったひなびた旅館でした。その旅館で、三味線の弾き語りで習ったのが「百虎隊」の歌でした。音痴の私が何とか歌える様になるまで小一時間掛かりました。この歌が私のカラオケ第一号でした。今日、魚津病院に来て9年近くになり、この間多くのお年寄りの患者さんに接し、それぞれの青春の思い出を垣間見てきました。こうした日常の中で、茫たる日々を思い出すとすれば、色々と思いが浮かんで来て、ここに私の青春の一刻を書きつづった次第です。

講演会開催される!!

七月一日、「高齢者の基礎的医学知識」というテーマで、大田亨老健施設長の講演会が開かれました。

高齢者の身体の特性など、わかりやすく説明されました。

今後も、このような講演会を企画する予定でおります。参加は、自由となっておりますので、ご家族をはじめ、地域の方々のご参加を是非お待ちしております。



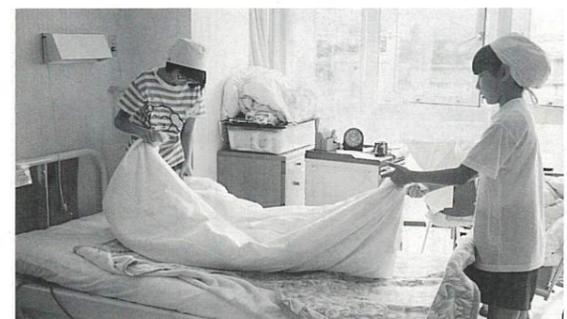
いつもありがとうございます

今年上半期 ボランティア活動状況 (H10.1月~6月)

Table with 3 columns: 月 (Month), 人数 (Number of people), 主な活動内容 (Main activity content). Rows include January (New Year party), February (Flower arrangement), March (Flower viewing), April (Flower festival), May (Bus hike), June (Tea house), and Total (273 people).



平成十年下半期、ますますイベントが、盛りだくさんになってきます。ボランティアさんの活動の機会を広げていきたいと思っておりますので、よろしくお願



6月27日、上中島小学校4・5・6年生のボランティアクラブの児童11名と先生2名で、シーツ交換と七夕の飾り付けのお手伝いをして下さいました。

シーツ交換が初めてで、緊張しながら、説明を聞いている姿も見られましたが、とても丁寧に真剣な表情で、チャレンジしていました。その後は、ロビーにてマラカスを持って、歌を歌ったり、壁に七夕の装飾をしたりして、楽しい一時を過ごしました。



「おばあちゃん、また、来るね。」
「まっとうるちゃ〜」
「元気でおいれエ〜」

ボランティア募集です

- お年寄りの方々の話し合い手になってもらえる方
行事・イベントのお手伝いをしていただける方
シーツ交換のお手伝いをしていただける方



お問い合わせ
魚津病院・魚津老人保健施設
☎ (0765) 24-7671 (担当 山田・四十万)



今後の行事予定

- 8月: 3B体操、法話会
9月: 敬老会、お話の日、生け花教室、喫茶店、バスハイイク、誕生日お茶会
10月: 3B体操、カレンダー作り、秋のお茶会、生け花教室、バスハイイク、会食会
11月: 喫茶店、クリスマス飾りつけ、誕生日会、お茶会、カレンダー作り
12月: 3B体操、クリスマスコンサート、クリスマス会、正月飾りつけ、生け花教室、カレンダー作り

編集後記

「リハビリ」についてご理解いただけたでしょうか。
今後も、利用者の「その人らしい」生活のお手伝いに職員一同、努力していきたいと考えております。
今回は、利用者・家族・職員が、共に取り組む「ケアプラン」について特集を組む予定です。
どうぞ、お楽しみに!!

本誌は再生紙を利用しています。

特集I・・・リハビリテーション

～訓練室だけがリハビリの場ではない!? 毎日の生活そのものがリハビリにつながる!!～



事例2 ～在宅編～

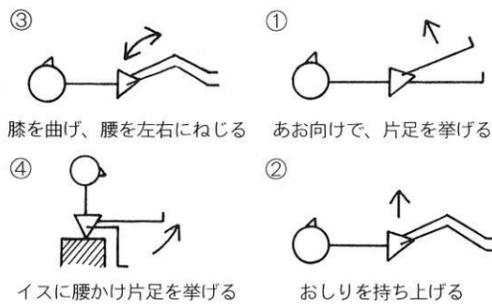
Aさんは、脳梗塞による左半身マヒと左大腿骨骨折の後遺症による歩行障害がありました。週1回、当老人保健施設のデイ・ケアを利用していましたが、「自宅でもできるリハビリがあれば」とAさん担当の訪問看護婦を通じて相談がありました。

早速、理学療法士とソーシャルワーカーが自宅にお邪魔し、生活状況を見せていただいたり、お話しを伺ったりしました。

その中でAさんは「家の中を何とかして杖で歩きたい」という思いを打ち明けて下さいました。

Aさんは、現在、訪問看護婦や家族に励まされながら、コソコソと取り組んでいらっしゃいます。

これからも、本人はもちろんのこと、家族や訪問看護婦と施設スタッフが情報交換をし、連携をとりながら、Aさんを見守って行きたいと考えています。



デイ・ケア利用者 A・Tさん(79歳)の場合

Aさんは、足腰の筋力が低下しており、相談の結果、マヒ側を中心に足腰を強くする運動が、Aさん、訪問看護婦に指導されました。

例えば、絵で示すと次のようになります。

リハビリテーション(Rehabilitation)ってなに?

リハビリテーションとは、人間(自分)が人間(自分)らしく生活ができるようにすることです。

* re(再び) - habilis(人間にふさわしい) - ation(にすること)



《生活を楽しむためのリハビリテーション》

「ああ、早く死にたい」「早くお迎え来ないかしら」という声をよく聞きます。年を取ったり、障害を持つことにより、それまで人間らしく(その人らしく)生きてきた部分が削られていく不安や能力の低下、生活の環境により生じる声でしょう。命ある時間をより楽しむために、その人らしく生活できるようにすることがリハビリです。

身体能力の低下を防いだり、環境を整備し、介護を必要としている人、介護者がともに安全に効率よく生活できるように手助けをしていきます。



リハビリってどんなことをしているの?

訓練室で行うだけがリハビリではありません。その人の自立生活につながるような様々な取り組みが、様々なスタッフの連携と協力によって行われています。

☆訓練室でのリハビリ — 個別リハビリ…その方の病気や障害に応じた訓練。



— 集団リハビリ…ゲーム性を取り入れたレクリエーションなどグループでの取り組み。

☆病棟でのリハビリ — 看護婦やケアワーカー等による食事や排泄・ベッド上の動作、洗面など、身の生活全般に対する訓練。

☆在宅訪問指導 — デイ・ケア利用者など在宅で療養されている方や退院・退所をひかえ、在宅療養の準備をされている方に対し、家庭でもできる訓練方法や家屋構造や介護機器等の指導・相談を行うことを目的に理学療法士やソーシャルワーカーが自宅を訪問させていただきます。



事例1

～病棟編～

T・Yさん(73歳)の場合

約一年前に右脳梗塞後遺症にて総合病院から魚津病院に転院。

◎口をつぐんだままで、うなづくのみで、話もされない状況でした。

そんなある日、「おはよう」の言葉。職員側でも、T・Yさんが、自発的に口を開くことができるようになれば、生活が広がるのではないかと思います。

ケアカンファレンスの開催

◎家族の方の参加をお願いし、T・Yさんにかかわるスタッフが情報を交換し、その後、療養計画について話し合いました。

その内容は:

① 『自発的に口を開ける練習』

⇒ 洗面所で鏡を見ながらの洗面。(歯を磨く為には、口を開けなければならぬ)

② 『話すことの練習』

⇒ 本人からの発語が引き出せそうな話題を考え、意図的に話しかける。

このような、当たり前の動作を行うことも、病棟でのリハビリです。毎日の継続により、以前の生活に近づけていくことが、ポイントです。

最近では、「おはよう」「ありがとう」などの発語が、時々聞かれるようになりました。

毎日、面会に来られるご家族の方々の表情も少しずつ明るさが、感じられてきました。

※入院して、初めてT・Yさんの声を聞かれたご家族の方の喜びは、一緒にいた職員以上だったに違いありません。



それっアタック!! 負けられんちゃあ!

「困ったときは、いつでも呼んでね」理学療法士の言葉にAさんは笑顔でうなづいて下さり、「訪問させていただいてよかったです」とスタッフも実感することができました。



シルバーライフを健康で明るく

医療法人社団七徳会

魚津病院★魚津老人保健施設

☎(0765) 24-7671

☎(0765) 24-7691

◎ご相談はお気軽にどうぞ!!

担当: ソーシャルワーカー 四十万・山田(相談室)